

日本の海岸線を歩く会 報告書

2022年4月24日

報告者：友松知宏

1. 計画の概要

ブロック名	九州(門司～杵築)-1
歩行区間	スタート地点：門司/関門トンネル入口 ゴール地点：日豊本線柳ヶ浦駅
実施期間	令和4年4月2日(日)～4月6日(水)
歩行距離	82.8 ^{km}
1人当費用	61,629円

2. メンバー

	役割分担	氏名(年齢)	期	その他
1	リーダー・記録	友松知宏(82才)	8期	090-7774-8559
2	会計	友松和子(82才)	友松妻	

3. 地図



4. 歩行概要

	月日	出発地～	到着地	距離	歩行者	備考(宿泊)
1	4/02	米子 19:23=岡山=23:35 小倉(泊)				東横イン
2	4/03	小倉 07:34=07:48 門司港=タクシー=関門トンネル入口～部崎灯台～柄杓田港～新門司港/ホテルAZ(泊)		19.4	知・和	ホテルAZ
3	04	ホテルAZ 08:00～ <u>下曽根駅</u> ＝～ <u>朽網</u> ＝～ <u>苅田</u> ～行橋～新田原＝中津(泊)		24.4	知・和	東横イン
4	05	行橋 07:47=07:53 新田原～築城～椎田～ <u>豊前松江</u> ＝～ <u>宇島</u> ＝～ <u>三毛門</u> ～中津(泊)		22.9	知・和	東横イン
5	06	<u>中津</u> 08:00＝～ <u>東中津駅</u> ＝～ <u>青和木材市場</u> ～柳ヶ浦駅 16:56＝小倉＝岡山＝21:23 米子		16.1	知・和	

82.8Km

5. 詳細説明

4月2日(晴れ)

米子駅を19:23JR特急やくも30号で出発、21:36岡山着。22:03同駅新幹線のぞみ59号＝23:35小倉着。駅南口の東横インにチェックイン。

4月3日(晴れ)

7:24小倉発、7:39門司港着。タクシーで九州西海岸歩行の出発点であった関門トンネル入口へ移動。7:55ここから東海岸歩行を出発する。

幹線道路を外れて、海岸沿いに歩く。9:35田ノ浦臨海公園前(休憩)。



関門トンネル人道入口



布刈神社鳥居/背景は関門橋



田ノ浦臨海公園前



部崎灯台



僧清虚像

10:35 部崎灯台。11:30 僧清虚像前。
この灯台は明治5年点灯の日本の灯台史上貴重な歴史遺産である。光を集めるフレネルレンズは、明治28年フランス輸入されたものが今も使われている。

この地が、灯台建設の地に選ばれた理由の一つに、僧清虚の偉業がある。この地は潮の流れが速く、念仏埼と呼ばれていた。天保7年、国見の僧

清虚が修行のため高野山に向かう途中、船でこの沖を通りかかり、このことを知り、下船。この地に留まり、後背地の山の上に火焚場を設け、托鉢で得た金をすべて薪にあて、74歳で亡く

なるまで、一日一食で過ごし、読経しながら、雨の日も欠かさず火を焚き続け、沖を通る船の安全に尽くしたと伝えられている。

13:30 白野江植物公園。

九州唯一の植物公園。高台の広大な敷地にいろんな植物が集められている。ちょうどさくら祭の期間で、大勢の人が来ている。桜広場で昼食。



16:20 新門司海浜公園

潮が引き、干潟が現われて、家族連れが潮干狩りをしている。遠くに外国船らしい白い船が停泊している。新門司港に観光客を降し、観光から戻ってくるのを待っているのだろうか。そんなことを考えながら、公園のベンチで今日最後の休憩を楽しむ。



18:15 ホテルAZにチェックイン。(19.4km)

4月4日(晴れ)

ホテルAZからタクシーを頼み、下曾根駅までシェアする。

知宏/7:10 出発～-----～8:05 セブンイレブン門司吉志店着=タクシー=8:15 スーパー
和子/7:15 タクシーで出発。7:20 セブンイレブン門司吉志店着、歩行開始。8:10 スーパー・
ラムール着。合流。

知宏・和子/

8:20 出発～8:50 下曾根駅着。

ここからJRを使って朽網駅、朽網駅～苅田駅をシェアする。

知宏/9:00 下曾根駅歩行開始～--～10.10 朽網駅着 10:13=

和子/9:11 下曾根駅=JR 中津行= 9:17 朽網駅着 9:20～

=JR 中津行=10:17 刈田駅着。合流。

～-----～10:20 刈田駅着。合流。



苅田駅

駅近くの来々軒で昼食を摂る予定であったが本日休業。昼食はお預けして10:50 歩行開始。11:15 セブンイレブン苅田町店で昼食。12:50 出発。

JR 西工大前駅からシェアするため、和子は東側の国道10号を直進し、知宏は駅に近い日豊本線の西側の県道に別れる。

和子/14:00 行橋駅着 14:30=JR 中津行=14:33 南行橋着。

知宏のトラブルを知り、15:35 歩行を続行。16:30 新田原駅着。知宏と合流。

知宏/大学前の跨線橋を渡り 13:35 小波瀬工大前駅到着。

同駅 13:40 発=13:47 行橋駅着。

知宏/ここで大失敗。

トイレを探すが見つからず、構内にあるFマートのレジで場所を訊ねた。

駅の外に2ヶ所あるらしい。東口の南橋と西口の北の端、互いに駅ホームの反対端に



西日本工業大学

あるらしく、これから歩く南行橋方面のトイレに駆け込み、事なきを得て、南行橋に向かって歩きだした。念のために振り返ってみると宿の候補に挙げていた AB ホテルの看板が見えた。先方に渡る予定の橋もあるし、安心して速度を上げた。



行橋駅

違和感があり、気が付くと、地面に移る自分の影が、左左に伸びている。地図を見ると、正しくは右になればならない。どうやら逆方向に歩いているらしい。道をもどり、駅前のトヨタレンタカーの店で道を尋ねた。やはり逆行していた。

和子に知らせ、改めて東出口から右手方向に歩く。約1時間遅れで、16:00 南行橋着。同駅 16:10 発 JR に乗車。16:14 新田原駅着。16:30 和子と合流。16:33 発中津行きに乗り、17:05 中津着。17:20 東横インにチェックイン。

反省

幾つかの偶然が重なってトラブルになった。

- ① トイレが見つからず、コンコースを何回か回っているうちに、方向感覚が狂った。
- ② AB ホテルを見て方向を確認したが、宿の候補に挙げていたのは反対側出口にあるアバホテルで、AB ホテルをアバホテルと取り違えた。
- ③ 駅の北と南に同じような川があるのに気づけなかった。

が、今回の失敗の最大の原因は友松の不注意であり、そうなった遠因の一つに体力の低下があると思う。日頃のトレーニングが大切である。

4月5日（晴れ）

和子／7:47JR 中津駅発＝8:12 新田原駅 8:15 歩行開始～9:15 築城駅 9:43＝9:46 椎田 9:50～11:10 豊前松江駅 11:48＝11:51 宇島駅。合流。

知宏／7:47JR 中津駅発＝8:08 築城駅 8:13～9:25 椎田駅 9:47＝9:51 豊前松江駅 9:55～11:30 宇島駅。合流。

松江駅から1Km、ドラッグストアコスモスの手前で国道から細い旧道に入る。昔の街道筋で古い街並みが続く。宇島駅まで中間あたりに銭湯があった。今ではごく珍しい木造建築で、入口に「松乃湯」の立看板が置かれているのだが、右から左に向けて書かれており、興味をそそられ、入ってみようと思ったが、時刻に追われており、素通りした。



松乃湯

宇島駅手前のセブンイレブンで弁当を調達。和子の分をホームのベンチに置き、和子が乗ってきた中津行に入れかわりに乗車。

宇島駅 11:52＝11:55 三毛門駅 12:10～13:20 吉富駅 13:58＝14:01 中津駅。合流。

三毛門駅の前に大きなカボチャのアートが置かれている。「名産三毛門南瓜」とある。近くにいた人に声をかけると、広場の隅の建物を指さす。行ってみると、三毛門南瓜の由来が掲示されている。

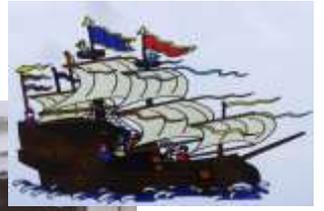
450年前、ポルトガル人がカンボジア産のカボチャの種を豊後の国主大友宗麟に献上。たいへん評判になったそのカボチャの種を三毛門村の緒方鎮盛が譲り受け、三毛門村で



三毛門駅前



昭和天皇へ献上の時の祈念写真



栽培。以来三毛門カボチャと呼ばれるまでになり、度々の飢饉や戦後の食糧難を救った。昭和3年、昭和天皇即位に際して、大嘗祭のお供えに選ばれ献上。村民が昼は日の丸行列、夜は提灯行列で祝った。

和子／宇島駅 12:00 発～12:45 三毛門駅 12:55＝12:58 吉富駅 13:05～13:40 中津駅。合流。知宏・和子／タクシーで市内を観光する。

① 福沢諭吉旧居／福沢諭吉記念館

福澤諭吉旧居 は、福澤諭吉 が幼少年期を過ごした 大分県中津市 にある旧居である。国史跡 。1835 年大坂の中津藩 蔵屋敷で生まれた福澤諭吉は、1 歳 6 か月の時、父の死去により帰藩し、19 歳までこの場所で過ごした。



福沢諭吉旧居



福沢諭吉像

② 中津城

中津城は、軍師黒田官兵衛孝高（如水）が築城、細川忠興が完成させた。大分県指定史跡。享保2年（1717年）からは、奥平家が居城としていた。周防灘（豊前海）に臨む中津川河口の地に築城された梯郭式の平城である。堀には海水が引き込まれているため、水城（海城）ともされ、今治城・高松城と並ぶ日本三大水城の一つに数えられる。



中津城

③ 村上医家資料館

中津市は福沢諭吉や前野良沢（『ターヘルアナトピア』翻訳、『解体新書』著）などの学者や前田晃伸（みずほフィナンシャル代表）、村上巧児（井筒屋、西鉄社長）などの実業家を輩出している。このような土壌は蘭学研究や儒学を奨励保護した三代藩主奥平昌鹿 や自らが日蘭辞書・蘭日辞書を出版した七代藩主奥平昌高 の存在が大きい。

学問を大切にする伝統は村上医家資料館に見ることが出来る。

いまま大病院を経営する



料館前の掲示



村上医家資料館

村上医家が、私財を投じて資料館を開設し、初代宗伯が寛永17年(1640)諸町に医院を開業から現在に至るまでの、数千点におよぶ医学関係や、その他の資料や建物を公開。開業から人体解剖に至るまでの医学・蘭学の流れを今に伝えている。資料館の中庭にある土蔵に高野長英が匿われていたとの表示がある。

16:40 中津駅に戻る。駅構内に置かれた「駅ピアノ」で、ブルクミュラー3番「牧歌」を弾かせてもらった。

4月5日(晴れ)

和子/7:47JR 東横イン中津駅～～8:40 東中津駅 8:45＝タクシー＝8:50 青和木材
知宏/7:51 中津駅＝ JR 別府行き ＝7:56 東中津駅 8:00～～～～9:10 青和木材

～9:50 灰原珈琲店＝タクシー＝10:10 セブンイレブン順風新田
＝タクシー＝9:20 灰原珈琲店～～～～10:30 セブンイレブン順風新田

～10:50 柳ヶ浦駅
＝10:40 柳ヶ浦駅

知宏・和子/10:55 柳ヶ浦＝ソニック 20号＝11:37 小倉 11:55＝

＝のぞみ 26号＝12:20＝岡山 14:05＝やくも 15号＝16:20 米子駅

6. 費用

交通費	米子～門司港、柳ヶ浦～米子	52,780
	現地 JR	3,050
	タクシーチャーター	10,000
	タクシー米子	2,600
	<u>小計</u>	<u>68,430</u>
宿泊費	東横イン小倉	9,300
	ホテル AZ 新門司港	10,460
	東横イン中津(2泊)	15,470
	<u>小計</u>	<u>35,230</u>
	夕外食(2回)	9,262
昼食	4,935	
<u>小計</u>	<u>14,197</u>	
観光	タクシー	4,000
	入場料	1,400
	<u>小計</u>	<u>5,400</u>
総合計		<u>123,257</u>
	一人当たり	<u>61,629</u>

以上